

## 報道関係各位

## 米国・ジョージア州にチタン酸塩 「テラセス」新工場の建設を決定

大塚化学株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:原島文治、以下「大塚化学」)は、2014年2月、米国・ジョージア州に「テラセス」(非繊維状チタン酸カリウム)の製造・販売を目的とする現地法人を設立しました。「テラセス」は自動車用ブレーキパッドの素材として需要が伸びており、新車販売台数ならびにブレーキパッドメーカーの開発拠点多い米国を日本、中国に次ぐ第3の製造拠点に選びました。生産能力は2,000t/年で、2015年11月に商業生産開始を目指します。

## 【新会社概要】

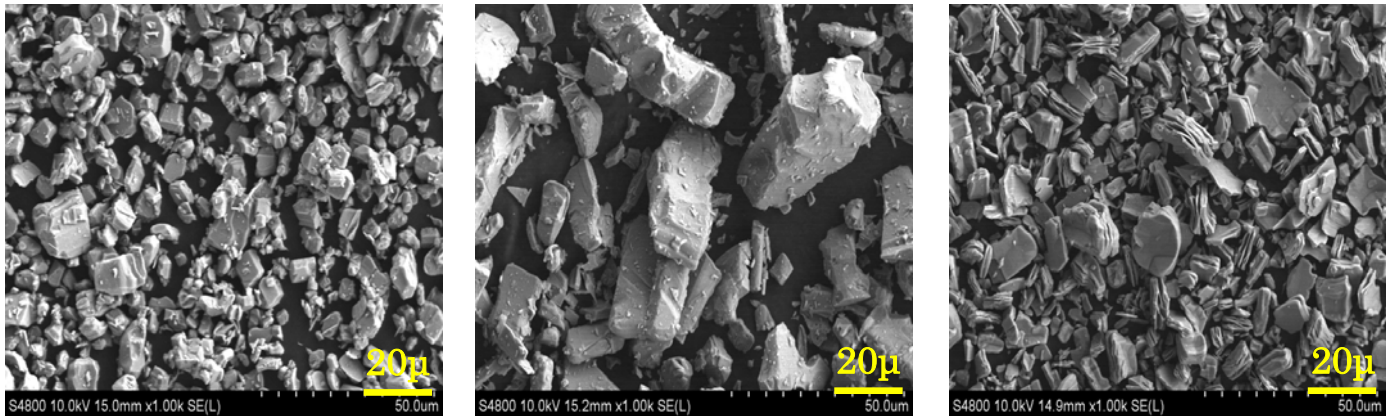
- |    |      |                                 |
|----|------|---------------------------------|
| 1. | 会社名  | : Otsuka Chemical America, Inc. |
| 2. | 所在地  | : 米国・ジョージア州                     |
| 3. | 敷地面積 | : 34ACRE (13.75ha)              |
| 4. | 生產品目 | : テラセス(非繊維状チタン酸カリウム)            |
| 5. | 設立時期 | : 2014年2月6日                     |
| 6. | 操業開始 | : 2015年11月(予定)                  |
| 7. | 出資比率 | : 大塚化学 100%                     |
| 8. | 従業員数 | : 約30人                          |
| 9. | 生産能力 | : 2,000t/年                      |

## 【テラセスとは】

「テラセス」はマイクロサイズの粒子径を有した、板状結晶に制御したチタン酸塩です。この素材は、マイクロ補強材、摩擦材などに利用されています。

大塚化学ではこのチタン酸塩の形状制御技術の研究開発に30年以上に亘って取り組み、多種多様な組成及び形状を作ることに成功しました。この「テラセス」を使用することにより、ブレーキをかける際に起こる「鳴き」やパッドの摩耗のばらつきなどを抑えることができ、長期間にわたり安定したブレーキの効きを得ることができます。

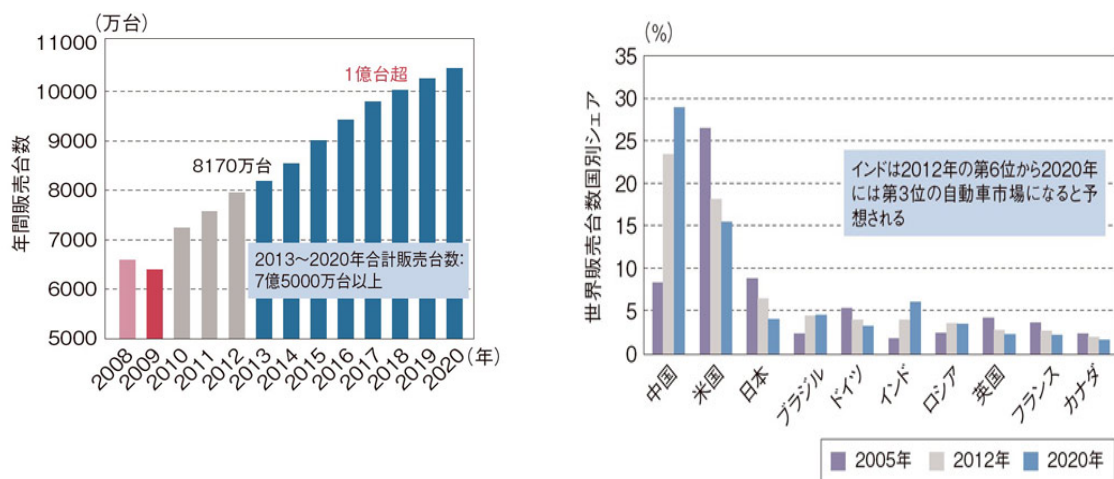
大塚化学「テラセス」の電子顕微鏡写真(自社資料)



【チタン酸塩の生産の経緯】

- 1979年 大塚化学は、日本で初めて「ティスモ」(チタン酸カリウム繊維)の商業用プラントを建設し、補強材料・摺動材料として商業生産を開始。塗料の耐熱性、樹脂の強度向や自動車ブレーキパッドの摩擦摩耗特性向上などを目的として使用されている。
- 2000年 「ティスモ」に加え、日本で「テラセス」を開発し生産・販売を開始。
- 2004年 中国江蘇省張家港市に張家港大塚化学有限公司を設立、初の「テラセス」の海外生産を開始。
- 2014年 米国・ジョージア州に「テラセス」新工場設立。

2013年の世界の新車販売台数は、8,000万台を突破し、今後も伸びていくことが期待されています。2018年には1億台を超える販売台数に達すると予想されており、ブレーキパッドの生産量もそれに合わせて伸長していくと予想されています。さらに、米国では最近ブレーキパッドに含まれる銅が規制されようとしており、代替品としてのチタン酸塩の需要が増加すると思われます。



(出典: 日経 Automotive Technology 2014年1月号)

当社は、非繊維状チタン酸カリウムを“顧客とともに地球規模(テラ)に成功(サクセス)する素材になるよう”にと願い、「テラセス」と名づけました。今回、日本・中国・米国を生産拠点とすることで安定供給を目指すとともに、品質の高い製品を通して、世界の人々に貢献してまいります。

## 会社概要

### 大塚化学株式会社 (Otsuka Chemical Co., Ltd.)

設 立 : 1950 年 8 月 29 日  
資 本 金 : 50 億円  
代 表 者 : 代表取締役社長 原島 文治(はらしま たけはる)  
本 社 所 在 地 : 〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通 3-2-27  
従 業 員 数 : 550 名(2014 年 3 月 31 日現在)  
事 業 内 容 : 化学品の製造販売